

# 花百科 News Letter

## ジュンブライド「6月の花嫁」

6月に結婚した花嫁は幸せになれるという言い伝えがあります。では、なぜそう言われているのでしょうか。

ジュンブライドの発祥地はヨーロッパです。そして、その由来を調べたところ、三つの諸説がありました。

一つ目として、Juneという月名は、ローマ神話の結婚をつかさどる女神Juno（ジュノー）からきている。そのため「婚姻と女性の権利を守護するこの女神の月に結婚すれば、きっと花嫁は幸せになるだろう。」とされている説。

二つ目に、その昔、ヨーロッパでは3～5月の3か月間は農作業の妨げになるため、結婚することが禁止されていました。そのため、6月になって一斉にカップルたちが結婚し、周りの人たちからの祝福も最も多い月だったとする説です。

そして最後に、ヨーロッパの6月は、1年中最も雨が少なく良い天気が続きます。そのため、澆刺（はつらつ）とした季節の始まり、若者の季節と呼ばれ、気候が最もいい月であるので、6月の花嫁は幸せになれるという説です。

以上がヨーロッパでの言い伝えである。ではなぜ日本にもその言い伝えが広まっているのか。日本では6月といえば梅雨の時期である。雨や湿気で結婚式気分ではないだろう。かつてはこの時期に結婚式を挙げるカップルは少なかったという。そこで、閑散（かんさん）期に何とか集客を、と考えた結婚式場関係者がヨーロッパの言い伝えを輸入したのが、日本にジュンブライドが根づいた理由とも言われている。



## { 薔薇物語 }

### 有名人の名のついたバラ

#### オードリー・ヘプバーン (Audrey Hepburn)



1929年5月4日 - 1993年1月20日  
イギリスの女優。『ローマの休日』『ティファニーで朝食を』『マイ・フェア・レディ』『戦争と平和』『ティファニーで朝食を』『麗しのサブリナ』『パリの恋人』『昼下りの情事』『尼僧物語』『許されざる者』『パリで一緒に』『マイ・フェア・レディ』『おしゃれ泥棒』『暗くなるまで待って』等

#### イングリッド・バーグマン (Ingrid Bergman)



1915年8月29日 - 1982年8月29日  
ハリウッドで活躍したスウェーデン出身の女優。『別離』『カサブランカ』『ガス燈』『汚名』『追想』『サボテンの花』『オリент急行殺人事件』『秋のソナタ』

#### ラ・レーヌ・ビクトリア (La Reine Victoria)



イギリス史上、最も繁栄した時代の女王ビクトリアの名前を授けられたバラ。ゴージャスです！



紀元前70年12月または紀元前69年1月 - 紀元前30年8月12日)は、古代エジプトプトレマイオス朝最後のファラオである。父はプトレウマイオス12世、母はクレオパトラ5世  
**クレオパトラ7世フィロパトル**  
一般に「クレオパトラ」の名で知られる。「絶世の美女」として知られ、人をそらさない魅力的な話術と、小鳥のような美しい声であったと伝えられる。

## 福住バスターミナル・カルチャースクール一日講座案内

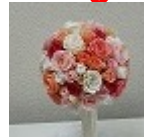
自分で作る生花のウェディング・ブーケ

受講可能日時

月・火: 12:30 ~ 14:30  
水: 9:00 ~ 11:00  
土・日: 10:00 ~ 16:00  
ヘア飾りももちろん

自分で作る生花のウェディング・ブーケ

プリザーブドフラワーなので早めに作っても大丈夫です。



写真はイメージです 新郎用ブートニアも作ります。



生花で作る為挙式前日に作ります。当日会場まで配送サービス(無料)有。

お問合せ・お申込は TEL: 011-520-7773 (9~20時受付) ㈱花百科まで

FAX/Eメールでも (24時間受付) FAX: 011-520-7774・ [sato@hana100.com](mailto:sato@hana100.com) 教室: イトーヨーカド福住店 6階